

原始から古墳時代まで

旧石器—縄文—弥生—古墳時代

<時代概説>

野田市域で発見された最も古い遺跡（岩名第 14 遺跡）から、旧石器時代の約 2 万 6000 年前（最終氷河期の終末期）には、人々の生活が始まっていたことがわかります。

その頃は、火山活動が盛んだったため、火山灰が降り積もって関東ローム層となり、その中からも、遺跡が発見されます。気候は寒さが厳しく、大陸から渡ってきたナウマンゾウやヘラジカなどを、石の道具（石器）を使って捕らえて食料としていました。三ツ堀六畝（みつぼりろくせ）遺跡では、海を越えて東京都神津島産の黒曜石（こくようせき）という石が使われていることがわかりました。

やがて火山活動がやみ、1 万 2000 年前頃から、地球規模で暖かい気候と寒い気候（温暖化と寒冷化）が繰り返されました。縄目の文様が付けられた土器が煮炊きの道具として使われた縄文時代には、大型の獣が姿を消してシカやイノシシが増え、木の実をつける落葉広葉樹林が豊かに広がって、ドングリなどをアク抜きして食べる方法も工夫されました。

暖かい時期には内陸まで海が近づき、遠浅の海辺では貝類がよく育ちました。そのため、台地の縁に沿って、「貝塚」とよばれる貝を採っていた跡が残されています。5000 年前頃からは、木間ヶ瀬地区の砂南（すなみなみ）貝塚・東金野井貝塚・岩名貝塚・清水地区の野田貝塚・山崎貝塚などの馬のひづめの形をした大型の貝塚が発達しました。貝塚に捨てられた貝は、寒い時期がきて海が遠ざかりはじめると、真水と海水が混じり合う場所に育つシジミなどの量が増えることがあり、当時の自然環境を知る手がかりにもなります。

稲作が始まった弥生時代の遺跡は少ないのですが、二ツ塚地区の勢至久保（せしくぼ）遺跡では、紀元前後（中期後半）頃の、骨を壺に移し替えた再葬墓（さいそうぼ）という墓が発見されています。後期になると座生川周辺などに竪穴住居が広がっていき、見つかった弥生土器には北関東系の特徴をもった土器も多く、茨城県域の人々との交流が考えられます。

古墳時代は、4 世紀頃（前期）、集落が各地に作られました。堤台松山遺跡や上三ヶ尾宮前遺跡では、周りに溝を掘った方形周溝墓（ほうけいしゅこうぼ）という墓があり、集落の長の墓所と考えられています。二ツ塚殿谷遺跡では、環壕（かんごう）という大きな堀に囲まれた集落の外に、同じような墓がありました。弥生時代とは異なり、木間ヶ瀬地区の飯塚貝塚や三ツ堀六畝遺跡などの古い時期の土器の組合せには、東海や畿内地方の特徴が見られます。

その後、人々の生活が拡がり、有力者が権力を示すために築いた古墳が出現するのは、6 世紀初め（後期）の頃です。東金野井にある香取原古墳群の円墳（円形の古墳）からは、鉄剣や直刀・鉄の鍬（やじり）などの武具が発見されました。また、岩名古墳は横穴があいたドーム状の石室があったので、江戸時代から「岩名の洞窟」とよばれていました。

二ツ塚古墳では、7 世紀（終末期）頃の小さな円墳が発掘されていますが、副葬品は殆どありません。古墳の造られるのはこの頃で終わりますが、それを支えた人々の生活を知ることができる遺跡の発見は、まだそれほど多くありませんので、今後の課題となるでしょう。

- <コラム>
- 野田の低地と台地
 - 野田の旧石器時代
 - 縄文時代の貝塚
 - 野田の弥生時代
 - 野田の地形と古墳文化

年代	主な出来事
<p>旧石器時代 2万6000年前頃</p> <p>1万2000年前頃から</p>	<p><コラム> 野田の低地と台地</p> <p>市域でも人々の生活が始まる</p> <p><コラム> 野田の旧石器時代</p> <p>温暖化と寒冷化が繰り返される</p>  <p>市内全域航空写真 (野田ライオンズクラブ寄贈)</p>
<p>縄文時代 (B.C. 9000～ B.C. 500年)</p>	<p>暖かい時期には海が近づき、貝塚ができる</p> <p>早期 : ボタモチ山遺跡(中里) 前期～中期 : 北前貝塚(堤台)、中野台三昧寺貝塚、 後期～晩期 : 国指定史跡 山崎貝塚(山崎貝塚町) 県指定文化財 野田貝塚(清水) 内町貝塚(関宿元町)、東金野井貝塚</p> <p><コラム> 縄文時代の貝塚</p>  <p>空から見た山崎貝塚</p>
<p>弥生時代 (B.C. 500年 前後～A.D. 300年前後)</p>	<p>稲作(水稲耕作)が始まる</p> <p>中期中頃(紀元前後) : 勢至久保遺跡(二ツ塚)の墓跡</p> <p>後期(紀元2、3世紀) : 一ノ坪遺跡(岩名)の集落跡その他</p> <p><コラム> 野田の弥生時代</p>  <p>弥生式土器(勢至久保遺跡)</p>
<p>古墳時代 (A.D. 300年 前後～A.D. 700年前後)</p>	<p>各地に集落がつくられる</p> <p>前期 : 堤台松山遺跡の方形周溝墓、三ツ堀遺跡や飯塚貝塚(木間ヶ瀬)等の集落 集落の増大 : 寺後遺跡(清水)や尾崎梨ノ木遺跡で靱痕のある土器が出土</p> <p>古墳がつくられる 後期 : 香取原古墳群(中里) 岩名古墳</p> <p><コラム> 野田の地形と古墳文化</p>  <p>女性の埴輪 (香取原古墳)</p>